

令和7年度第3回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会

日 時：令和8年2月19日（木）

午後2時から午後3時30分まで

場 所：鶴岡市ごみ焼却施設3階研修室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

（1）次期一般廃棄物処理基本計画（案）について 別紙1

（2）令和8年度鶴岡市一般廃棄物処理実施計画（案）について 別紙2

（3）令和8年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行予定について

3. そ の 他

（1）ごみ処理費用（持ち込み可燃ごみ・不燃ごみ）について

4. 閉 会

鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

(敬称略) 任期:R8.8.23まで

区 分	氏 名	所属団体職名	備考
学識経験者	佐 藤 司	鶴岡工業高等専門学校 教授	会長
	西 山 正 晃	山形大学農学部 准教授	
関係行政機関 の 職 員	田 中 利 正	山形県庄内総合支庁保健福祉環境部 環境課長	
住民組織等の 代 表 者	佐 藤 豊	鶴岡市コミュニティ組織協議会 第二コミュニティ振興会会長	
	後 藤 重 好	鶴岡市自治振興会連絡協議会 湯野浜地区自治振興会会長	
	大 沼 恒 司	藤島地区衛生組織連合会 会長	
	半 澤 み つ	藤島地域婦人会 会計	
	小 南 孝 子	羽黒町婦人会 会長	
	清 和 秀 輝	櫛引地区環境保全推進員協議会 会長	
	三 浦 寛 幸	朝日地域自治会連絡協議会 副会長	
	伊 藤 彦 市	温海地区衛生組織連合会 会長	
	佐 藤 やよ井	鶴岡市食生活改善推進協議会 会長	
関係商工業団体の 代 表 者	菊 地 陸	鶴岡商工会議所議員	
	加 藤 省 二	出羽商工会 副会長	
	尾 川 勝 則	鶴岡商店会連合会 会長	副会長
事 業 者	土 屋 清 光	一般社団法人鶴岡地区医師会 事務局長	
	竹 内 直 人	株式会社主婦の店鶴岡店 総務部長	
	土 田 光 恵	生活協同組合共立社組織部	
	佐 藤 航	湯野浜温泉観光協会会長	

区 分	氏 名	役 職 名
オブザーバー	本 間 純	三川町建設環境課課長

事 務 局

氏 名	役 職 名
佐 藤 玲 子	市民部長
本 間 克 秀	環境政策課長
工 藤 礼 子	藤島庁舎市民福祉課長
山 口 え み	羽黒庁舎市民福祉課長
齋 藤 芳	櫛引庁舎市民福祉課長
齋 藤 健 一	朝日庁舎地域づくり推進課長
剣 持 健 志	温海庁舎市民福祉課長
石 川 誠	環境政策課主幹
小野寺 保 則	環境政策課課長補佐
阿 部 真	環境政策課主査
長谷川 修	環境政策課主査
菅 原 利 博	環境政策課主査
富 樫 梓	環境政策課専門員
佐 藤 竹 宏	環境政策課主事
西 脇 慎太郎	環境政策課主事
湯 田 雛 乃	環境政策課主事
元 木 友 麻	環境政策課主事

(2) 令和8年度鶴岡市一般廃棄物処理実施計画（案）について

一般廃棄物処理計画について

- ・市町村は、廃棄物処理法第6条第1項の規定により、当該市町村の区域内の一般廃棄物の処理に関する計画（一般廃棄物処理計画）を定めなければならないとされています。

【一般廃棄物処理計画に盛り込むべき事項】

- ㊦一般廃棄物の発生量及び処理量の見込み
- ㊧一般廃棄物の排出の抑制のための方策に関する事項
- ㊨一般廃棄物の種類及び分別の区分
- ㊩一般廃棄物の適正処理に関する基本的事項
- ㊪一般廃棄物の処理施設の整備に関する事項

- ・一般廃棄物処理計画は、一般廃棄物の処理に関する基本的な事項について定める基本計画と、基本計画のために必要な各年度の事業について定める実施計画から構成されています。（廃棄物処理法施行規則第1条の3）。

①一般廃棄物処理基本計画について

当市の基本計画は、令和8年度～令和17年度の10年間の計画について、令和8年3月に策定を予定しております。



②一般廃棄物処理実施計画について

実施計画には、一般廃棄物の排出の状況、処理主体、収集計画、中間処理計画及び最終処分計画等を明確にすることとし、市町村はこれに基づき収集、運搬及び処分を行わなければならないとされています。（「ごみ処理基本計画策定指針」より）。

(3) 令和8年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行予定について

◎ 方針

令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とする「次期一般廃棄物処理基本計画」は、新たに食品ロス削減推進計画、し尿等処理基本計画を内包する形で策定しており、さらなるごみの減量化やリサイクルの推進、ごみの適正処理などの取り組みを推進していきます。

各種事業については、「令和8年度一般廃棄物処理実施計画（案）」に基づき進めます。

◎ 令和8年度の重点的な取り組み

【①ごみ減量・資源化推進の情報発信】

ホームページや市公式LINE、YouTube ショート動画などのデジタル発信、広報つるおか、エコ通信、ガイドブック、各コミセンだよりを活用した紙媒体発信など、情報媒体の特性を活かした効果的な情報発信を積極的に行います。



ホームページ



X (旧ツイッター)



フェイスブック



ユーチューブ

(参考) 市公式LINE を活用した、ごみ分別検索

○市公式LINEとお友だちになっていただくと、ごみの分別を検索できます。

1. 市公式LINEを開く



友だち追加はこちらから

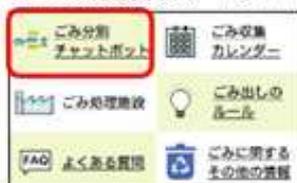
2. 「ごみ分別情報」を選択



3. 「ごみ」を選択



4. 「ごみ分別検索チャットボット」を選択



5. 調べたいごみを入力し、送信ボタンを押すと、自動で分別を回答



【②適正排出の推進】

分別間違いの多いごみについて重点的に情報発信を行い、ごみの減量・再資源化の推進を図るとともに、収集等における発火事故の未然防止につなげるため、適正排出の周知啓発を図ります。

※令和8年4月より電池類を取り外せない・取り外すことが難しい電池類内蔵製品(30cm以下)を蛍光管・乾電池等収集日の対象品目に追加。(30cmを超えるものは粗大ごみ)

【③ごみゼロ(530)大作戦】

海に流出するごみの8割が陸(街)由来とされている海洋プラスチックごみ問題に着目し、今年度に引き続き由良海水浴とマリパークねずがせきを会場に開催します。市民の参加促進、ごみの減量と再資源化のより広い周知を図ります。

※令和8年度は5月29日(金)開催予定です。

【④食品ロス削減と排出抑制】

食材の適量購入や使い切り、食べきりの呼びかけ、飲食店等での3010運動や持ち帰りなど、写真や動画による具体的な例を示しながらごみの減量を推進していきます。

【⑤もやすごみのサンプル調査】

家庭から出るごみの約9割を占めるもやすごみのサンプル調査を引き続き実施し、分析結果を市HPや分別出前講座等で情報発信していきます。

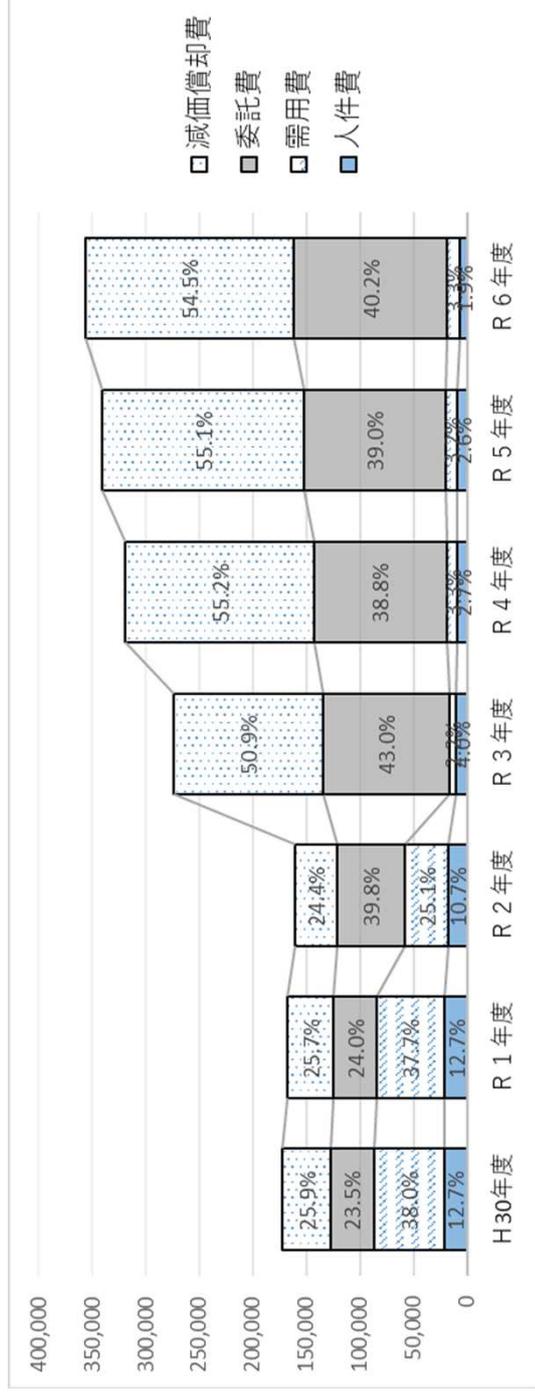
【⑥高齢者等ごみ出し支援事業】

高齢者・障害者等ごみ出し困難世帯のごみ出し支援を始める町内会等の団体に対し、支援に必要なごみステーションの新設・改修に要する費用等を補助します。

【年間ごみ処理費用・処理原価の推移】

①年間ごみ処理費用(千円)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
人件費	21,770	21,223	17,281	10,832	8,765	8,923	6,925
需用費(光熱水費・修繕費等)	65,348	62,984	40,340	5,911	10,396	10,983	11,681
委託費(運転管理費・施設管理費)	40,367	40,150	64,073	117,613	123,792	132,685	143,278
減価償却費(施設設備等)	44,586	42,907	39,257	139,426	175,981	187,259	194,267
計	172,071	167,264	160,951	273,782	318,934	339,850	356,151
②売電収入(千円)	-	-	-	50,648	59,544	61,736	63,160
③差引処理費用(①-②)	172,071	167,264	160,951	223,134	259,390	278,114	292,991
④搬入量(トン)	13,288	12,908	11,371	11,270	11,280	10,778	11,062
⑤処理原価(③/④円/10kg)	129	130	142	198	230	258	265

【年間ごみ処理費用の内訳】



【売電収入の推移】

